



佐土原ロータリークラブ週報



会 長：佐藤 高元 **幹 事**：太田 忍
副 会 長：梶田 與之助 **会報委員長**：林 厚雄
会 計：村岡 博
事 務 局：〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島 11703-18
 TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877
 携帯：090-9596-6114 吉野由里子
例 会 日：毎週水曜日
例 会 場：ハイビスカス ゴルフクラブ
 TEL：0985-73-0109

5月23日プログラム予定・・・会員卓話
 5月30日プログラム予定・・・次年度活動方針

第974回 平成19年5月16日（水）

- 本日のプログラム
- 1. 点 鐘
 - 2. ロータリーソング
「それでこそロータリー」
 - 3. 会 長 の 時 間
 - 4. 幹 事 報 告
 - 5. ゲ ス ト 卓 話
 - 6. 点 鐘

を推進するための任務を理解し把握出来る様にする。
 したがって、「地区協議会」によって次期役員は効果的なクラブ運営について学習し、次年度のクラブ目標達成のプログラムを推進する役割を把握することがねらいと言えます。出来るだけ「地区協議会」を経験していない会員が積極的に参加して大いに学習し、次年度のクラブ運営の活性化に生かすことが大切だと思います。また、「地区協議会」参加後に尾の内容を整理し、感想意見も加えながら例会の場で会員全体に報告する場を設けることが「地区協議会」を生かすことになると考えます。5月、6月例会の運営を工夫していくことを提案いたします。

第973回の記録 平成19年5月8日
 みなさん今日は、5月例会になりました。私の会長年度も残り少なくなりました。これからのプログラムで、ロータリーの奉仕に継続性と発展性が高められるように、次年度に引き継いでいく責任があります。そこで、いくつか会長としての考えを示しながら、クラブ全体の共通理解を図りたいと思います。
 その一つは、5月20日の「地区協議会」についてです。すでに出席予定者も決まりましたので、準備は十分整っています。「地区協議会」の意義や内容についてはすでにご存知の通りですが、今一度確認しておきたいと思います。

2点目は、20周年記念事業についてです。今年度、日向中央クラブ、都城北クラブ、宮崎東クラブの周年記念祝賀行事に出席しました。その報告の義務もありますので、それぞれの記念行事の様子や、気がついた事を述べておきます。
 記念行事については、期日と場所の確保を急がねばなりません。時期については、年度の2730地区ガバナーの出席をお願いすることになりますので、次年度ガバナーの日程を確認する必要があります。その上で一日も早く基本計画を立てなければなりません。その場合、他のクラブの周年記念行事を参考にすることも一つの方法です。

-地区協議会について.....
- ★ いつ→PETS終了後の4月・5月中に、食事と休憩を除き丸一日開催することが推奨されています。
- ★ →すべての次期ロータリー会長、幹事、重要な指導者が出席します。
- ★ 次期クラブ会員がロータリーのプログラム

例えば、日向中央ロータリークラブの20周年記念行事の場合は、「創立20周年実行委員会組織」があって記念事業の計画運営に当たっていました。
 実行委員会組織は、クラブ会長、幹事とは別に実行委員長、副委員長をはじめ次のような4つの委員会で組織され、全会員が各委員会に参加し具体的な業務役割が決めています。
「裏へ続く・・・」

な業務役割が決められています。

委員会は (1) 記念式典 (2) 記念祝賀会 (3) 記念事業 (4) 記念誌の4委員会と特別会計。委員会の業務役割として・・・

(2) 記念祝賀委員会・・・会場レイアウト・祝賀会タイムスケジュール・余興考案・写真ビデオ撮影記念ゴルフ段取り、と言った内容です。

「中略致します。」

要するに記念行事はクラブの歩みを振り返る節目の行事です。これまでクラブを守り育ててきた先輩達の功績をたたえ、支えて下さった多くのロータリアンの皆様に感謝し、これから益々の親睦と奉仕の実践に努める決意を固める機会としての意義があると考えます。とするなら、一番大切なことは、佐土原ロータリークラブの30名の感謝の気持ちに結ばれた、より深い絆こそ大切にされなければなりません。けっして外見の派手さにとらわれたり、無理な背伸びは避けたいと思います。

とは言っても、20年目の節目にふさわしく、共に祝福して下さる多くの方々に対して失礼の無いように、真心を持って厳粛にさわやかにおもてなしの心を工夫した記念行事でありたいと思います

★★★★今月のセレモニー★★★★

☆おめでとうございます☆☆☆

- ♪ 誕生月～～ 岩切 正司会員
- ♪ 婦人誕生月～藤堂 真由美さん



- ♪ 結婚記念月～岩切 正司会員

『友』インターネット速報 No.283

銃乱射事件の被害者を元気づけるため

4月16日、アメリカ・バージニア州ブラックスバーグにあるバージニア工科大学で起きた銃乱射事件について、その被害者たちに手を差し伸べようと、地元のロータリアンたちが立ち上がりました。



授業が再開された米バージニア工科大で犠牲者を追悼する学生たち。

この事件では、チョ・スンヒ容疑者により学生ら32人が殺され、25人もの負傷者が出ました。

クリスチャンズバーグ・ブラックスバーグロータリークラブは、4月16日の夜間例会で、いかに救済の手を差し伸べるかを話し合いました。そして、ジャネット・ジョンソン会長は「この緊急時においては、大学側が被害者支援のために設立した基金 (Hokie Spirit Memorial Fund) を支援するのが、私たちができる最善の策でしょう」と述べ、多額の支援金を寄付しました。

また、同クラブ会員たちは、寮で生活する学生のうち、そこを出たいと望んでいる人たちや被害者の家族に自宅での宿泊を提案。多くの会員が被害者たちを元気づけるため、時間を割いてキャンパスで活動しています。「ロータリージャパン」ホームページ情報「ロータリージャパン」のホームページでは、4月22～27日にアメリカ・シカゴで開催された2007年規定審議会のレポートを紹介しています。

立法案の採否と、採択された立法案の詳細についても掲載していますので、ご覧ください。「ロータリージャパン」ホームページ日本語コンテンツ

<http://www.rotary.or.jp/contents.html>

上段の「2007年規定審議会レポート」、または「ロータリー情報」にある「規定審議会開催ロータリーの新しいルールが決まる！」の文字をクリックしてください。

発行 ロータリーの友事務所 ホームページ <http://www.rotary.or.jp>

～ MEMO ～

出席状況 第970回 平成19年4月11日

会員数	31名	欠席者数	10名
出席者数	21名	メイクアップ	3名
出席率	67.0%	修正出席率	77.0%

言動はこれに照らしてから

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか